

令和6年度 上田市立 塩田中学校 学校評価シート【中間】

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）	
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間 ～「あいさつ」「清掃」「合唱」を中核として～	
	今年度の重点目標	
	1	生徒が安心して生活できる学校づくり
	2	主体的に考え、判断し、活動する生徒の育成
	3	地域との連携＝開かれた学校

総合評価					
しおだっ子応援団、大学生ボランティアをはじめとして、たくさんの方々の協力を得ることができている。地域の方々と交流を通して、地域の一員として感謝と誇りをもち、日常生活を送るようにしていきたい。また、「あいさつ」「清掃」「合唱」など生徒と教師が活動を共にしながら、日常生活の質をさらに向上させていきたい。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●地域の方々の協力で日々の教育活動を充実させることができている。 ●生徒会が中心となって、学校生活の課題等を生徒同士で共有し合い、解決に向けて取り組もうとしている。		○			●生徒会では、模造紙を活用し、学校生活の課題等を集約している。そこに寄せられた生徒の意見を、学校生活に反映させられるよう支援していく。
		○			
		○			

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	主体的に学び、自らの考えを表現できる生徒	「学習問題」「学習課題」が提示され、ねらいをもった授業展開がなされているか
			授業の終末では、自分の学びを表現する「振り返り」の時間が設定されているか
			ICT機器が効果的に活用された授業展開がなされているか
			生徒が「分かる・できる」を実感できる探究的な授業になっているか
	生徒指導	自ら計画、実施、改善できる家庭学習	期限を定めた課題の提示やテスト前の自主学習期間を通じて主体的に家庭学習に取り組める環境がつかれているか
			各種アンケートや教育相談日を活用し、個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか
			生徒に寄り添った支援
			状況をふまえた適切な支援が行われているか
	生活指導	友や地域とつながる挨拶	生徒が自ら友や地域の方々に進んであいさつできるような支援ができているか
			生徒が自ら清掃場所を見つけ、時間いっぱい無言で行えるような支援ができているか
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組めるような支援ができているか
			個と集団の成長を図る生徒会・部活動
			生徒の願いを取り入れた生徒会・部活動になっているか
学校運営	地域との連携	しおだっ子応援団や学生ボランティアとの連携	環境整備や学習支援、地域交流など積極的なボランティアの協力が得られているか
		「地域」を中心に据えた探究的な総合的な学習の時間	地域の協力を得ながら探究的な活動を行っているか
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●視覚的・具体的・肯定的の3視点を意識した授業のユニバーサルデザイン化を通して、全ての生徒が分かる・できる授業を目指している。また、各種アンケート結果から、本校ではICT機器の積極的な活用が進んでいる。 ●家庭学習は、作業的な学習から主体的な学習への転換を目指している。主体的に取り組むために、具体的にどのような取り組みでいくべきか支援をしていく必要がある。		○			●塩田中学校の教師全員が、授業のユニバーサルデザイン化とICT機器の活用について研修を積み、日々の授業実践につなげる。 研修例：お互いの授業を見合う場の設定、校外研修への参加など ●年度当初に配布した「自主学習の手引き」をもとに、授業時やテスト期間前に家庭学習の方法についてアドバイスをやっていく。
		○			
		○			
		○			
●毎月のアンケートや毎学期の教育相談、アセス等を活用したり、相談室と連携したりしながら生徒の悩みを把握し、状況に応じた支援・指導に努めている。		○			●引き続きアンケート等を大切にしてい。また、チーム体制を整備し、生徒一人ひとりの状況を把握するとともに、個々に応じた支援・指導を行う。
		○			
		○			
		○			
●生徒会が中心となって、学校生活の課題等を生徒同士で共有し合い、改善に努めている。 ●日常生活の充実を目指した生徒会の特別活動を通して、「あいさつ」「清掃」「合唱」などに意欲的に取り組んでいる生徒が多い。		○			●現在行われている生徒会の特別活動「ハロープロジェクト」「タイムチェックウィーク」などを大切にす。また、生徒会に任せきりにするのではなく、生徒会活動に教師が積極的にに関わり、生徒の主体性を引き出していく。
		○			
		○			
		○			
●地域の方々から様々な支援をいただき、教育活動の充実が図られている。 ●「総合的な学習の時間」のカリキュラムを見直し、昨年度以上に地域の方々の協力をいただきながら、学習に取り組んでいる。		○			●学校の活動や取り組みが、さらに周知できるようにするために、各種通信等をメールを活用して発信していく。また、学校ホームページの充実を図る。
	○				
		○			

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった